別紙2　　平成30年度　　山のみち地域づくり交付金　事前評価実施地区一覧表

整理番号	都道府県名	事業実施地区名		事業実施主体	総便益 B		総費用 C	分析結果	Ⅰ 必須事項						Ⅱ 優先配慮事項											備考
															1 有効性			2効率性	3 事業の実施環境等							
															(1)		(2)	(1)	(1)	(2)	(3)					
		市町村名	地区名		種類	（千円）	（千円）	B／C	1	2	3	4	5	6	①	②					①	②	③	④	⑤	
1	島根県	浜田市 益田市	島根西部（シマネ セイブ）地区（チク）	島根県	①		3,656,826	1.24	○	○	○	○	○	○	B	A	A	A	B	B	A	B	A	A	A	
					②																					
					③																					
					④	871,487																				
					⑤	2,686,746																				
					⑥	283,007																				
					⑦	431,876																				
					⑧	24,560																				
					⑨	210,853																				
					⑩	3,679																				
					⑪	11,491																				
					計	4,523,699																				
2					①																					
					②																					
					③																					
					④																					
					⑤																					
					⑥																					
					⑦																					
					⑧																					
					⑨																					
					⑩																					
					⑪																					
					計																					
3					①																					
					②																					
					③																					
					④																					
					⑤																					
					⑥																					
					⑦																					
					⑧																					
					⑨																					
					⑩																					
					⑪																					
					計																					

【記載要領】
1　整理番号
　森林環境保全整備事業、ﾌｫﾚｽﾄ･ｺﾐｭﾆﾃｨ総合整備事業等ごとにそれぞれ通し番号を記載する。
2　事業実施地区
　整備を実施する市町村名等（ﾌｫﾚｽﾄ･ｺﾐｭﾆﾃｨ総合整備事業等のうち市町村の区域の一部を対象とする場合にあっては地区名）を記載する。
3　便益、事業費及び前提事項等は、「林野公共事業における事前評価の手法について」（平成14年3月26日付け13林整計第541号林野庁計画課長通知）に基づき記載する。
4　総便益の内訳については、便益の種類（①水源かん養便益、②山地保全便益、③環境保全便益、④木材生産等便益、⑤森林整備経費縮減等便益、⑥一般交通便益、⑦森林の総合利用便益、⑧災害等軽減便益、⑨維持管理費縮減便益、⑩山村環境整備便益、⑪その他の便益）を種類の欄に番号で付した上で各便益を記載する。
5　作成に当たっては、上記の記載例を参照されたい。
　・総便益以外の項目については、整理番号毎にセルを結合して中央に揃えて記載する。
6　備考欄の総事業費については、森林整備、林道整備ごとに事業期間(5カ年分)の総事業費を記入する。（様式4の総事業費の額）